SAmC Study Group:
Sustainable Archives for Media & Cultures
UCRC, Osaka City University

SAmC 第３回研究会のお知らせ

日時：２００８年１２月１４日　午後１時～５時

場所：大阪市　中央公会堂　Ｂ１　大会議室

〒530-0005　大阪市北区中之島1-1-27　Tel. 06-6208-2002
http://www.city.osaka.jp/yutoritomidori/culture/bunnka/4-2.html
アクセス：大阪市営地下鉄　御堂筋線「淀屋橋駅」１番出口　徒歩５分
堺筋線・京阪電車本線「北浜駅」徒歩５分　京阪中之島線「なにわ橋駅」徒歩１分

報告　笠原一人さん（京都工芸繊維大学大学院　助教）

報告タイトル「負の記憶とメモリアルの表現をめぐって」

報告　寺田匡宏さん（航空科学振興財団歴史伝承委員会　調査研究員）

報告タイトル「博物館における負の記憶の表現について
――戦争、災害、社会運動等の事例から――」

お二人の編著『戦争を学ぶミュージアム／メモリアル』（岩波ジュニア文庫）を参考書に、
それぞれの立場から、具体的な事例を交えつつご報告いただきます。
ぜひ参考書をお読みの上、お越し下さい。

持続可能な文化アーカイブ研究会（ＳＡｍＣ研）　設立の趣旨

当研究会は「持続可能な文化アーカイブの構築」を第一の目的に掲げ、写真・映画・テレビ・アニメーション・ポスター・ビラ・マンガ・ゲーム・ファッション・ホームビデオなどの消費文化財、ビジュアル文化を中心とした「20世紀型・日常メディアの文化」の収集と研究資料としての分類法の確立を目指すものです。日常メディアの文化は、社会的記憶の装置として、「戦争と映像の世紀＝20世紀」の人類の経験の容れものとして、世界中で注目を集めている重要な資料であり、文化のグローバル化と資料保存の電子化の時代を迎えて、今後ますます研究価値・保存収集の機運が高まっていくものと予想されます。こうした研究上の関心を共有するメディア文化研究者のみなさまのご参加をお待ちしています。

問い合わせ：石田佐恵子（ishita@lit.osaka-cu.ac.jp)

持続可能な文化アーカイブ研究会　ＵＣＲＣ,ＯＣＵ

Urban-Culture Research Center